



三島町立三島中学校

桐の里だより

令和6年1月号 校長 鶴水 達也

【学校教育目標】

自分の良さを知り
人とのつながりを大切にでき
自己の役割を果たし
計画的に行動できる生徒の育成



謹賀新年・子どもたちの抱負

1月9日、子どもたちの笑顔にあふれ、令和6年も順調にスタートしました。年末年始の終業式と始業式では、各学年の代表生徒が、素晴らしい発表を行いました。

【2学期終業式】2学期の反省

- 1年生 計画的に行動できる人になりたい。計画が遅れても調整できる力をつけたい。
- 2年生 具体的に反省をして、自分の改善点をしっかり把握して見直したい。
- 3年生 行事を通して、心身ともに大きく成長したことを実感できました。

【3学期始業式】冬休みの反省及び3学期の目標

- 1年生 冬休みは計画的に課題を行えたので、英検の勉強もできました。
- 2年生 これまでの反省を生かして、目標に向かって計画的に勉強したため余裕がありました。
- 3年生 自己マネジメントを意識して、体調管理に気をつけて、受験に臨みたい。

【黙祷】子どもたちからの提案により、始業式の前に黙祷を行いました。

「このたびの能登半島地震により尊い命をなくされた方々のご冥福をお祈りし、哀悼の意を表するために、黙祷を捧げます」



【始業式で目標を発表する3年生】



【能登半島地震に関して黙祷】

笑顔ではじまり、笑顔で終わる全校体育

本校の魅力ある教育のひとつに、テーマ「全校生でひとつのことに取り組むすばらしさ」があります。その一環で、定期的に全校体育を行っています。季節毎にサッカーやソフトボール、剣道、ダンスなどを全校生で行っています。

全校生で取り組むからこそ、競技や運動の楽しさを味わえます。また、3年生が1・2年生を導く姿は頼もしいです。教えることで多くの力が身についています。1・2年生は、3年生の姿から多くのことを学んでいます。全校体育を通して、主体的に学ぶ力が身についています。

1・2年生は「来年は自分たちが後輩(現小学6年生)に教える」という意欲もでています。先輩・後輩と、すてきな関係の子どもたちです。



【全校ダンス】



【全校サッカー】

小・中連携教育講演会での未来への人づくり

今年度は小中連携教育を充実させ「小学校と中学校とで協力して未来への人づくり」を行っています。その小中連携の取組で、12月19日は福島大学の木村勝彦教授の講演会を行いました。演題「埋もれ木の年輪が語る沼沢火山の5500年前の大噴火」として、地域の歴史を勉強しました。

小学生・中学生が主体的に講演会を運営する姿は頼もしかったです。また、小学生と中学生の仲の良さに、非常に微笑ましさを感じました。



【お礼のこぼ】原稿無しで発表するすごさ！



【休憩時間・仲よし小学生・中学生】

授業参観・ありがとうございました

12月15日の授業参観・学年保護者会で、年末のご多用中にも関わらず、保護者のみなさまにご来校いただき感謝申し上げます。それぞれの授業で、**交流を通して考えを深め・練り上げる子どもたちの姿**はいかがでしたでしょうか。

未来に向けたすてきな贈り物

毎年、西方地区の小松豊さんから3年生に「五角箸（合格箸）」と「高田の文殊様のお守り」で受験に向けた激励を頂いています。すてきな「合格箸」は手づくりです。3年生は「この小松さんの気持ちを大切に、**努力を積み重ねて受験での合格を勝ち取ります！**」と、お礼を述べていました。



【校長のひと言】学校ホームページを定期的に更新中です。現在99、900閲覧（令和4年7月号発行時66、000閲覧）、1年半で33、000閲覧でした。1日60閲覧以上と全校生徒の5倍も！